

新規受託項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

(記)

【受託項目名】: Viewアレルギー39(View39) 、
特異的IgE Gly m 4(大豆由来) 、Hes b 6. 02(ラテックス由来)

【受託開始日】: 平成28年4月1日(金)受付分より

【受託要領】:

弊社では従来より少量の血液で36種アレルギーに対する特異的IgEが検出できるViewアレルギー36を受託しております。今回、新たにご要望が多い3アレルギー(バナナ、豚肉、オオアワガエリ)を追加したViewアレルギー39(View39)の受託を開始いたします。

項目名称	View アレルギー39 (View39)
項目コード	3239
検査容器	1 ・ 分離剤入凝固促進スピッツ
検体量・保存	血清 0. 9mL ・ 冷蔵
検査方法	FEIA法
基準値	インデックス値 : 0. 27未満 クラス : 0
報告単位	I n d e x
報告範囲	0. 27未満 ~ 29. 31以上
所要日数	1~3日
実施料/判断料	1430点 / 免疫学的検査(144点)

【検査概要】:

問診から原因アレルギーが推定できない患者、学童期以降のアトピー性皮膚炎患者、PFS(pollen-associated food allergy syndrome;花粉関連食物アレルギー症候群)合併が疑われるアレルギー性鼻炎の患者の感作アレルギーのスクリーニングに、より有用です。

【受託中止項目】:

なお、Viewアレルギー39の受託開始に伴い、現行のViewアレルギー36(項目コード3199)は、平成28年3月31日(木)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。

● 【View39 構成アレルゲン】

吸入系抗原		食餌系抗原	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ	卵	卵白
	ハウスダスト1		オボムコイド
動物	ネコ皮膚	牛乳	ミルク
	イヌ皮膚	小麦	小麦
昆虫	ゴキブリ	豆、穀 種実類	大豆
	ガ		ソバ
樹木	スギ		ピーナッツ
	ヒノキ		米
	ハンノキ (属)		ゴマ
	シラカンバ (属)	甲殻類	エビ
草本類	カモガヤ		カニ
	オオアワガエリ	果物	キウイ
	ブタクサ		リンゴ
	ヨモギ		バナナ
空中真菌	アルテルナリア	魚・肉類	鶏肉
	アスペルギルス		牛肉
真菌 その他	カンジダ		豚肉
	馬拉セチア (属)		マグロ
	ラテックス		サケ
			サバ

は今回追加された項目です。

● 【クラス判定評】

判定	クラス	インデックス値	
陰性	0	0. 27未満	
疑陽性	1	0. 27以上	0. 50未満
陽性	2	0. 50以上	1. 80未満
	3	1. 80以上	7. 05未満
	4	7. 05以上	17. 35未満
	5	17. 35以上	29. 31未満
	6	29. 31以上	

● 【View39 (オオアワガエリ、バナナ、豚肉) とCAPシングルアレルゲン検査との相関 (クラス)】

g6オオアワガエリ	
View39	0 1 2 3 4 5 6
6	0 1 2 3 4 5 6
5	0 1 2 3 4 5 6
4	0 1 2 3 4 5 6
3	0 1 2 3 4 5 6
2	0 1 2 3 4 5 6
1	0 1 2 3 4 5 6
0	0 1 2 3 4 5 6
CAPシングルアレルゲン	

陽性一致率: 34 / 36 = 94.4%
陰性一致率: 17 / 17 = 100%
判定一致率: 54 / 59 = 91.5%

f92バナナ	
View39	0 1 2 3 4 5 6
6	0 1 2 3 4 5 6
5	0 1 2 3 4 5 6
4	0 1 2 3 4 5 6
3	0 1 2 3 4 5 6
2	0 1 2 3 4 5 6
1	0 1 2 3 4 5 6
0	0 1 2 3 4 5 6
CAPシングルアレルゲン	

陽性一致率: 36 / 40 = 90.0%
陰性一致率: 25 / 25 = 100%
判定一致率: 73 / 79 = 92.4%

f26豚肉	
View39	0 1 2 3 4 5 6
6	0 1 2 3 4 5 6
5	0 1 2 3 4 5 6
4	0 1 2 3 4 5 6
3	0 1 2 3 4 5 6
2	0 1 2 3 4 5 6
1	0 1 2 3 4 5 6
0	0 1 2 3 4 5 6
CAPシングルアレルゲン	

陽性一致率: 16 / 19 = 84.2%
陰性一致率: 38 / 38 = 100%
判定一致率: 57 / 67 = 85.1%

【受託要領】:

項目名称	グリエムフォー Gly m 4(大豆由来)	ヘヴビーロクテンゼロニ Hev b 6. 02(ラテックス由来)
項目コード	751	752
検査容器	1・分離剤入凝固促進スピッツ	1・分離剤入凝固促進スピッツ
検体量・保存	血清 0. 3mL ・ 冷蔵	血清 0. 3mL ・ 冷蔵
検査方法	FEIA法	FEIA法
基準値	0. 34以下 クラス 0	0. 34以下 クラス 0
報告単位	UA/mL	UA/mL
報告範囲	0. 10未満～100以上	0. 10未満～100以上
所要日数	1～4日	1～4日
実施料/判断料	110点/免疫学的検査(144点)	110点/免疫学的検査(144点)

【検査概要】:

● 特異的IgE Gly m 4(大豆由来)

Gly m 4は、シラカンバ花粉抗原(Bet v1)と高い相同性を有する大豆のアレルゲンコンポーネントです。大豆アレルギーには、大豆摂取により感作され、それ以降の摂取で発症するアレルギーの他に花粉症患者が大豆食品を摂取し、花粉抗原と食物抗原の交差反応により口腔アレルギーやショックなどを発症する花粉関連食物アレルギー症候群(PFS)があります。従来大豆特異的IgE抗体は、この交差反応によるアレルギー症例の多くが陰性でした。Gly m 4に対する特異的IgEは、シラカンバ花粉症等における大豆加工食品、特に重症例の報告が多い豆乳による食物アレルギーで高い陽性率が得られています。Gly m 4特異的IgEの測定は、従来大豆と組み合わせることで、より精度の高い大豆アレルギーの診断が可能になると期待されます。

● 特異的IgE Hev b 6. 02(ラテックス由来)

Hev b 6. 02は天然ゴムラテックス由来のアレルゲンコンポーネントで、臨床的特異度が高いとされています。Hev b 6. 02に対する特異的IgEの測定は、ラテックス製品に接触することで発症するアレルギーの選別に有用であり、従来のラテックスと組み合わせることで、より精度の高いラテックスアレルギーの診断が可能になると期待されます。また、Hev b 6. 02は、ラテックスアレルギーがバナナ、アボカド、キウイ等の食物アレルギーとの合併例が多いことが知られており、ラテックス-フルーツ症候群を診断するうえで有用と考えられます。

● 判定基準

クラス	抗体価 (UA /mL)	判定
0	0.34 以下	陰性
1	0.35 ～ 0.69	疑陽性
2	0.70 ～ 3.49	陽性
3	3.50 ～ 17.49	
4	17.50 ～ 49.99	
5	50.00 ～ 99.99	
6	100 以上	

新検査法参考文献

足立厚子, 他: J. Environ. Dermatol. Cutan. Allergol. 5, 431-438, 2011 (Gly m 4)
Yagami, A. et al.: Allergy International 58, 347-355, 2009 (Hev b 6.02)